



中野冷機株式会社

2019年12月期 決算説明会

2020年3月3日

東京証券取引所JASDAQ

証券コード：6411

I. 2019年12月期 決算の概要

II. 中長期経営計画“N-ExT2023”

1. 中長期経営計画“N-ExT2023”の概要：数値目標
2. 2019年度 振り返り
3. 設備投資の進捗状況
4. 2020年12月期 業績予想

III. 株主還元方針

IV. 企業価値向上に向けた取り組み



I. 2019年12月期 決算の概要

1. 業績サマリー
2. 損益計算書
3. 増減要因分析
4. 販売実績（事業分野別・販売国別）
5. 貸借対照表
6. キャッシュフロー計算書





【ショーケース・倉庫事業】⇒増収 (前年同期比9.9%増)

- コンビニエンス・ストア向け売上、物流センター等大型物件向け売上は伸長。
- スーパーマーケット向け売上は景気の不透明感と天候不順などにより減収。



【メンテナンス事業】⇒減収 (前年同期比3.2%減)

- 天候不順などの影響により減収。



【海外事業】⇒増収 (前年同期比2.3%増)

- 中国子会社の新規顧客開拓など積極的な営業活動により増収。

2. 2019年12月期 損益計算書

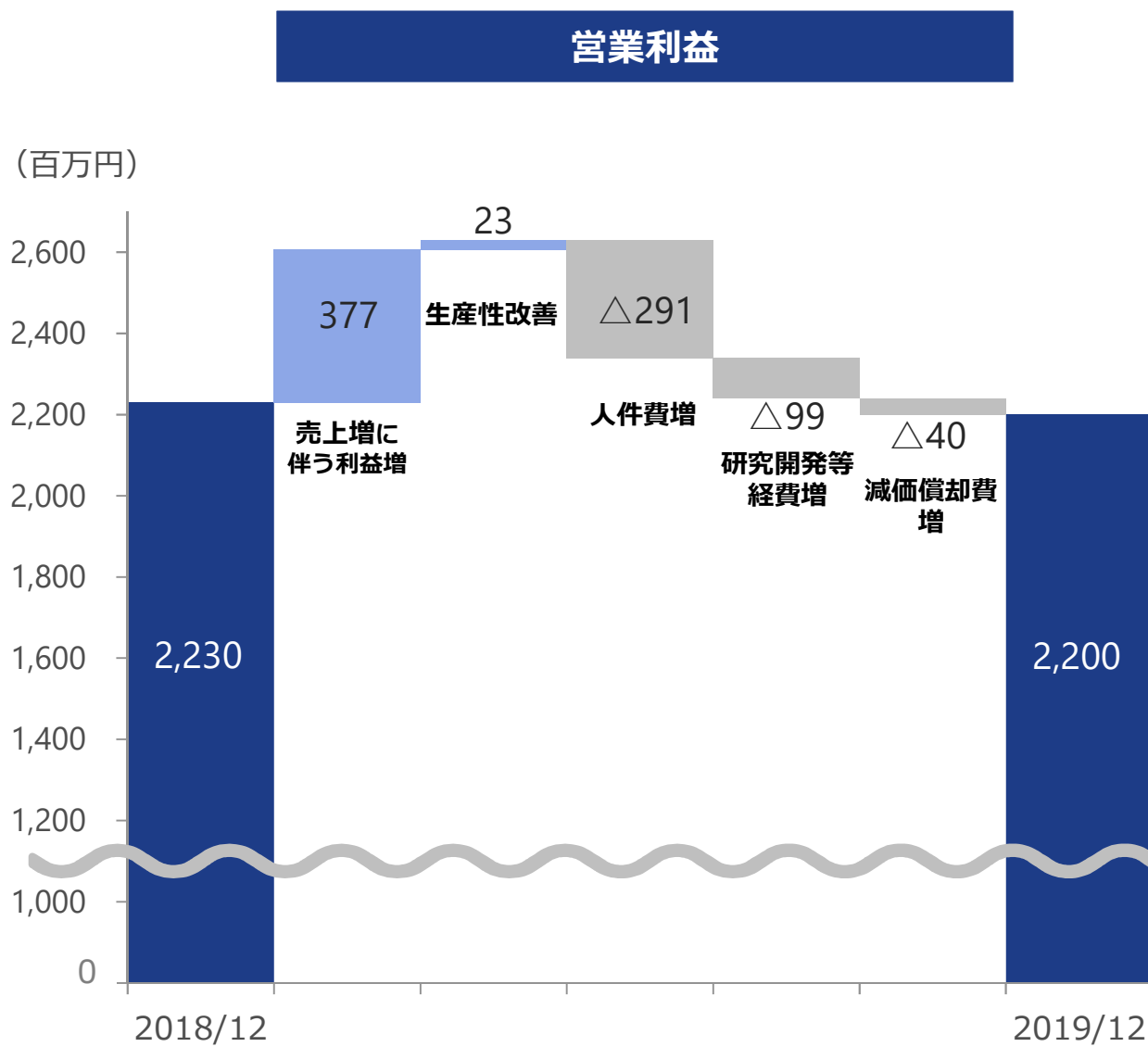
- ①ショーケース・倉庫事業は売上を伸ばすも、メンテナンス事業は天候不順などの影響により苦戦
- ②海外事業は、新規顧客の獲得により売上伸長

単位：百万円（百万円未満切捨て）、%

	2018/12		2019/12				前期比 増減
	実績	構成比	当初予想 (19.2.8)	修正予想 (19.11.8)	実績	構成比	
売上高	28,347	100.0	28,300	29,700	30,485	100.0	2,138
ショーケース ・ 倉庫事業	22,058	77.8	21,900	—	24,249	79.5	2,191
メンテナンス事業	3,593	12.7	3,700	—	3,478	11.4	△114
海外事業	2,695	9.5	2,700	—	2,757	9.1	61
営業利益	2,230	7.9	1,760	2,030	2,200	7.2	△29
経常利益	2,308	8.1	1,840	2,110	2,291	7.5	△16
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,580	5.6	1,210	1,400	1,496	4.9	△ 84

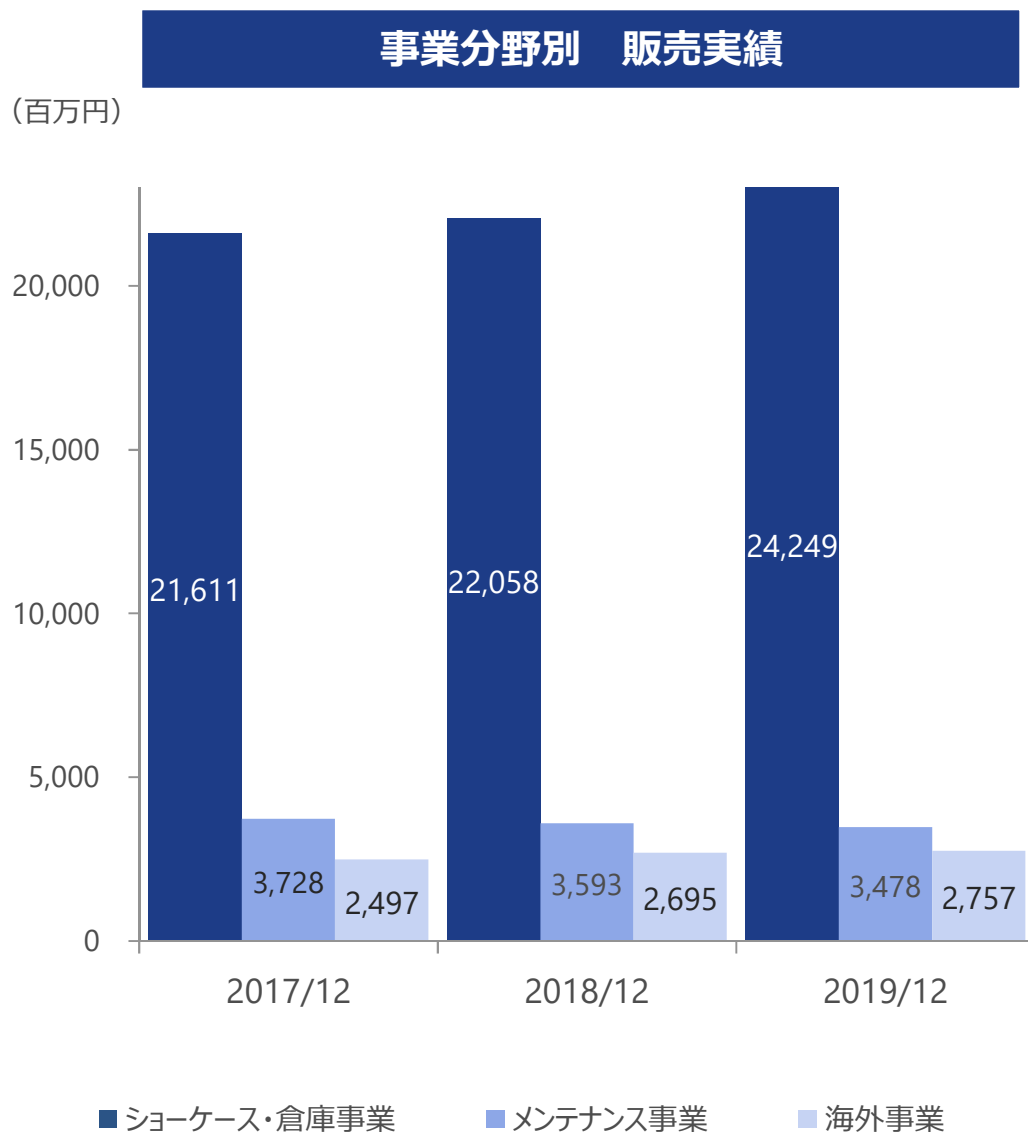
事業分野別の売上集計方法を見直したため、2018年12月期の数値を変更しております。

3. 2019年12月期 増減要因分析

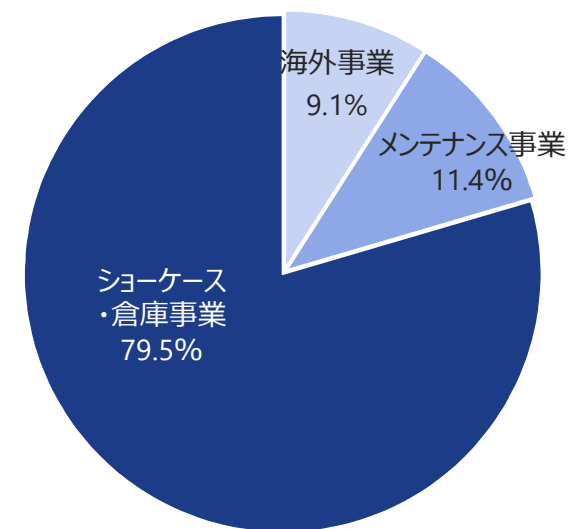


4. 2019年12月期 販売実績（事業分野別）

- ① ショーケース・倉庫事業は伸長するもメンテナンス事業は苦戦
- ② 海外事業は順調に拡大



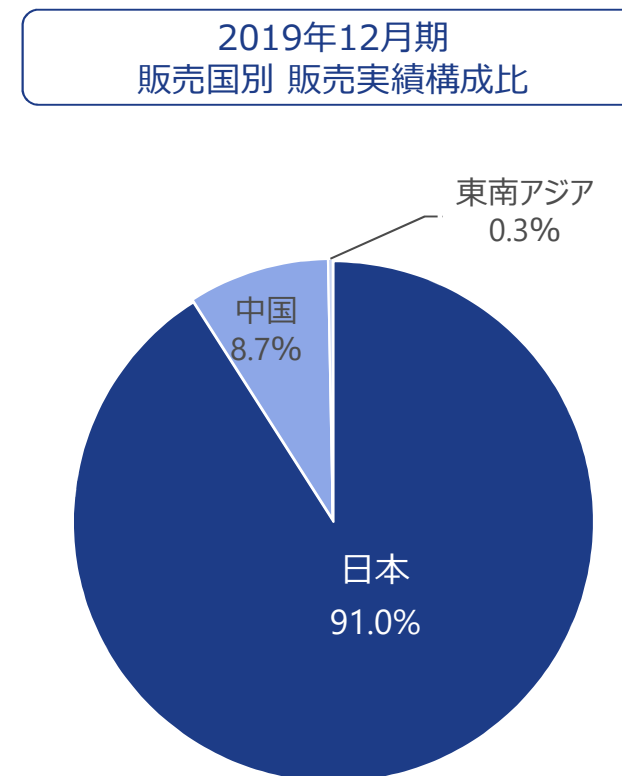
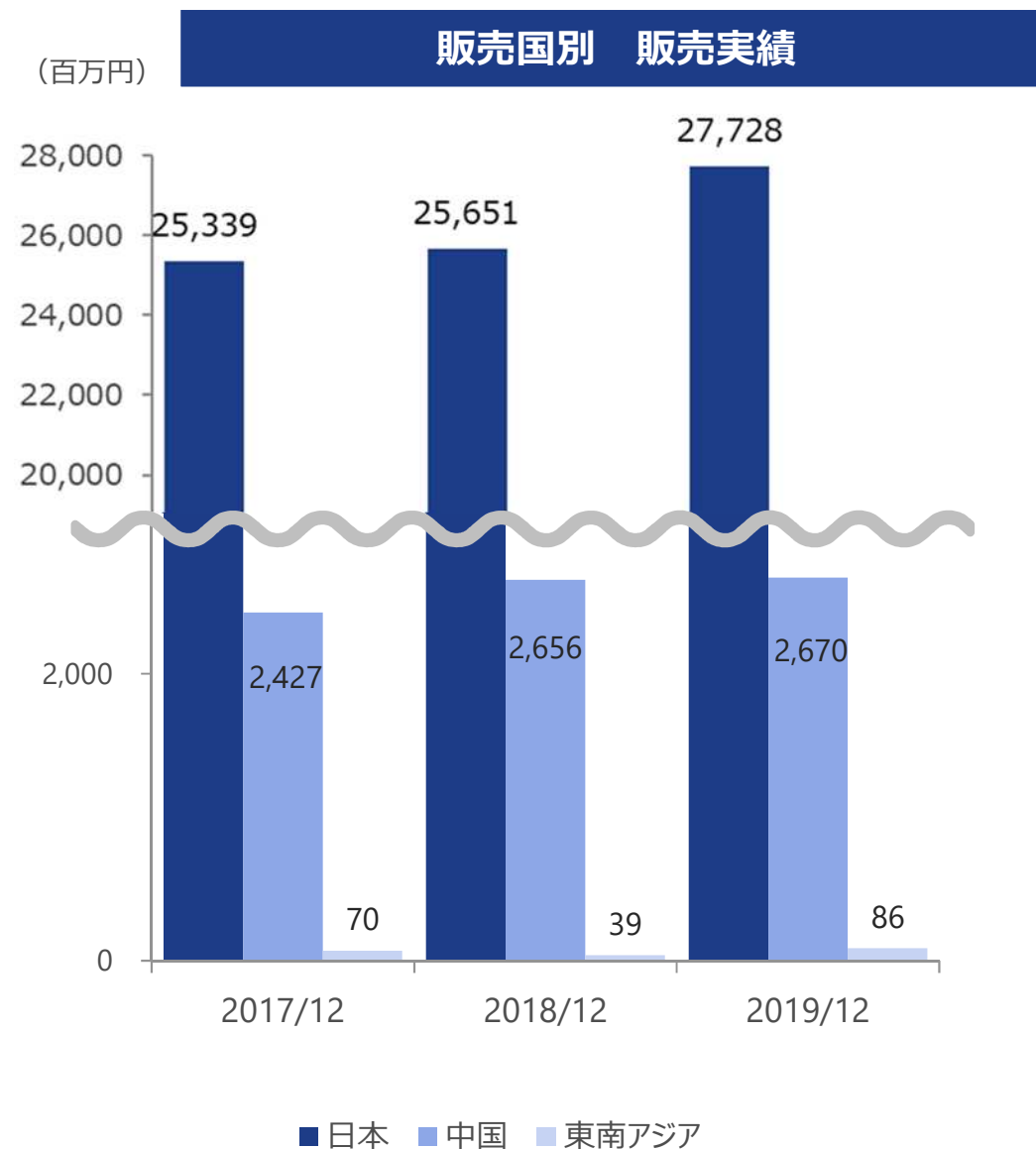
2019年12月期
事業分野別 販売実績構成比



事業分野別の売上集計方法を見直したため、2018年12月期の数値を変更しております。

4. 2019年12月期 販売実績（販売国別）

日本、中国、東南アジアともに売上伸長



5. 2019年12月期 貸借対照表

2019年12月期 第2四半期末
総資産 38,210百万円

△3,350百万円

2019年12月期末
総資産 34,860百万円

流動資産 △3,716

△ 4,028	現金及び預金
売上債権	358
△118	棚卸資産

負債 △ 3,893

(百万円)

△ 4,030	仕入債務
△300	未払費用
前受金	500

固定資産 +366

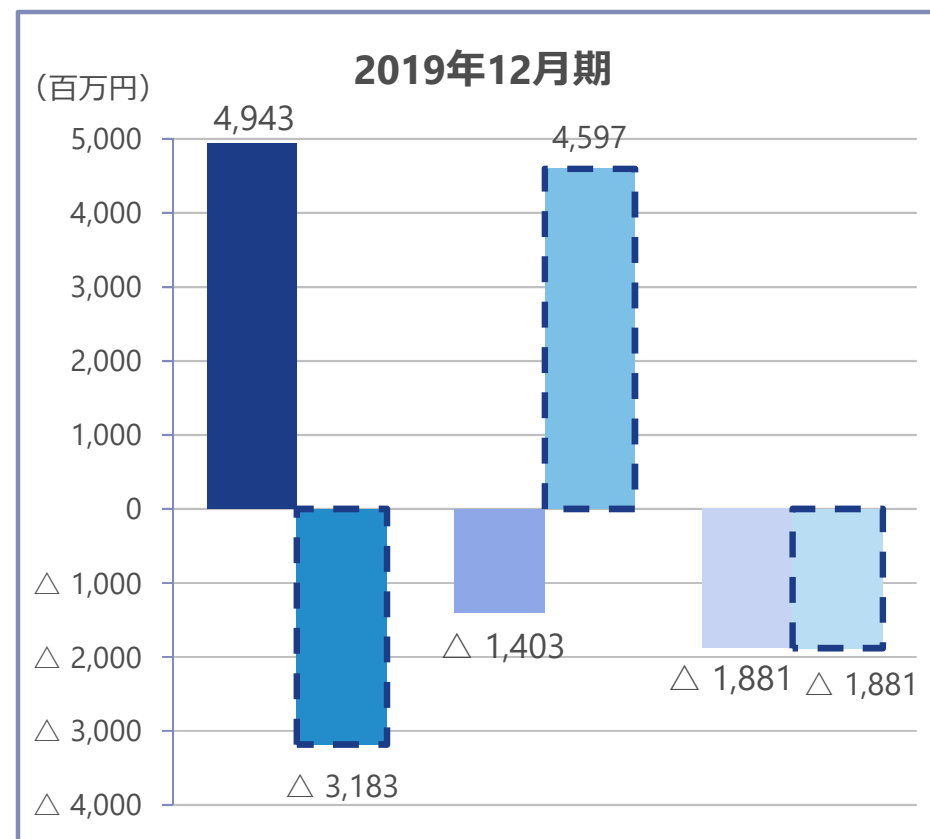
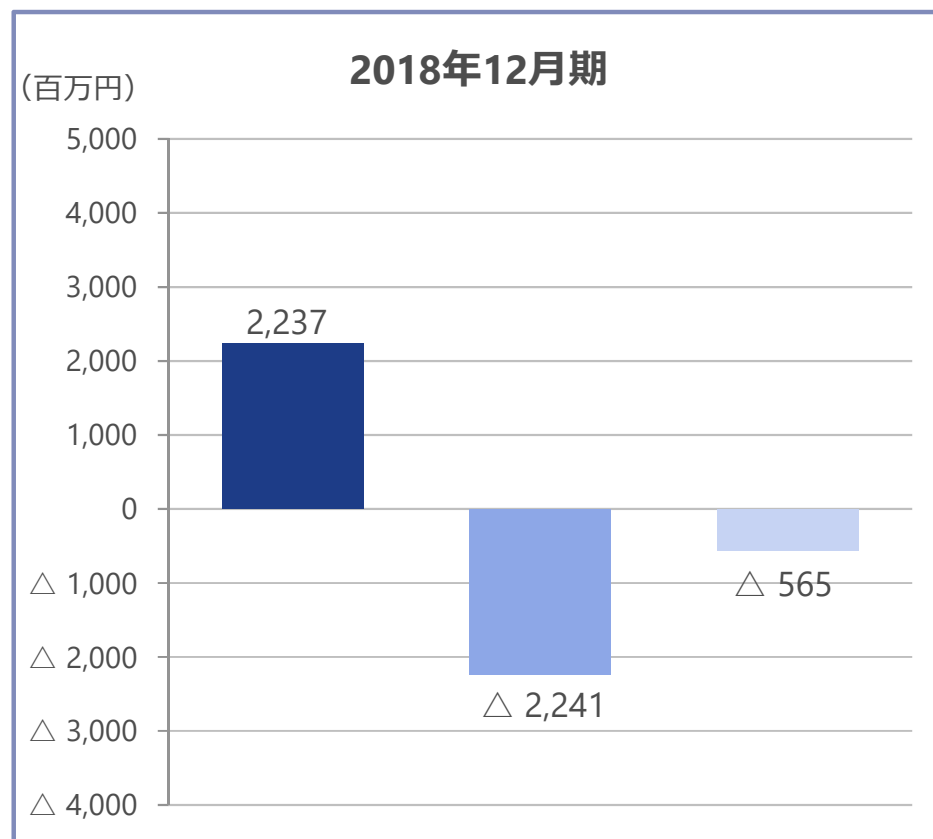
有形固定資産	162
投資その他の資産	131

純資産 +542

親会社株主に帰属 する当期純利益	720
△239	自己株式 (信託)

自己資本比率	2019年2Q	64.7%	2019年4Q	72.4%	+7.7%
--------	---------	-------	---------	-------	-------

6. 2019年12月期 キャッシュフロー計算書



■ 営業活動CF ■ 投資活動CF ■ 財務活動CF

※ [] は支払条件の変更に伴うもの

【ポイント】

- ① 2019年5月末の支払より、手形払いから全て現金払いに変更
- ② 現金による支払資金として60億円を準備

II. 中長期経営計画“N-ExT2023”

1. 中長期経営計画“N-ExT2023”の概要：数値目標
2. 2019年度 振り返り
3. 設備投資の進捗状況
4. 2020年12月期 業績予想
 - (1) 業績予想サマリー
 - (2) 損益計算書
 - (3) 増減要因分析
 - (4) 販売見込（事業分野別・販売国別）

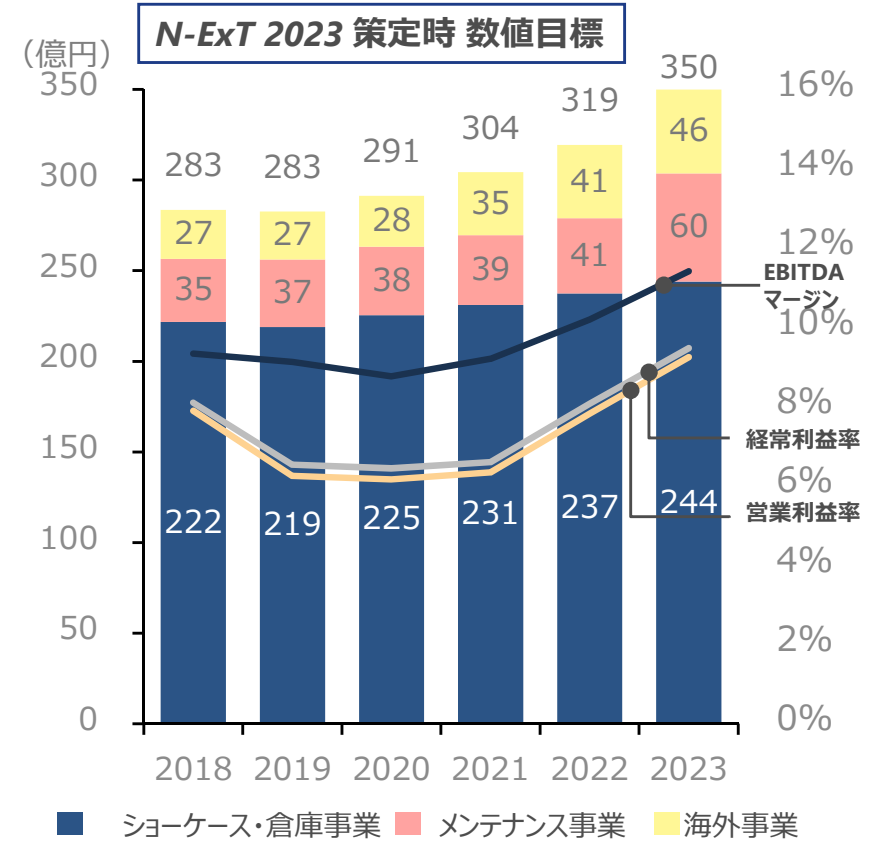
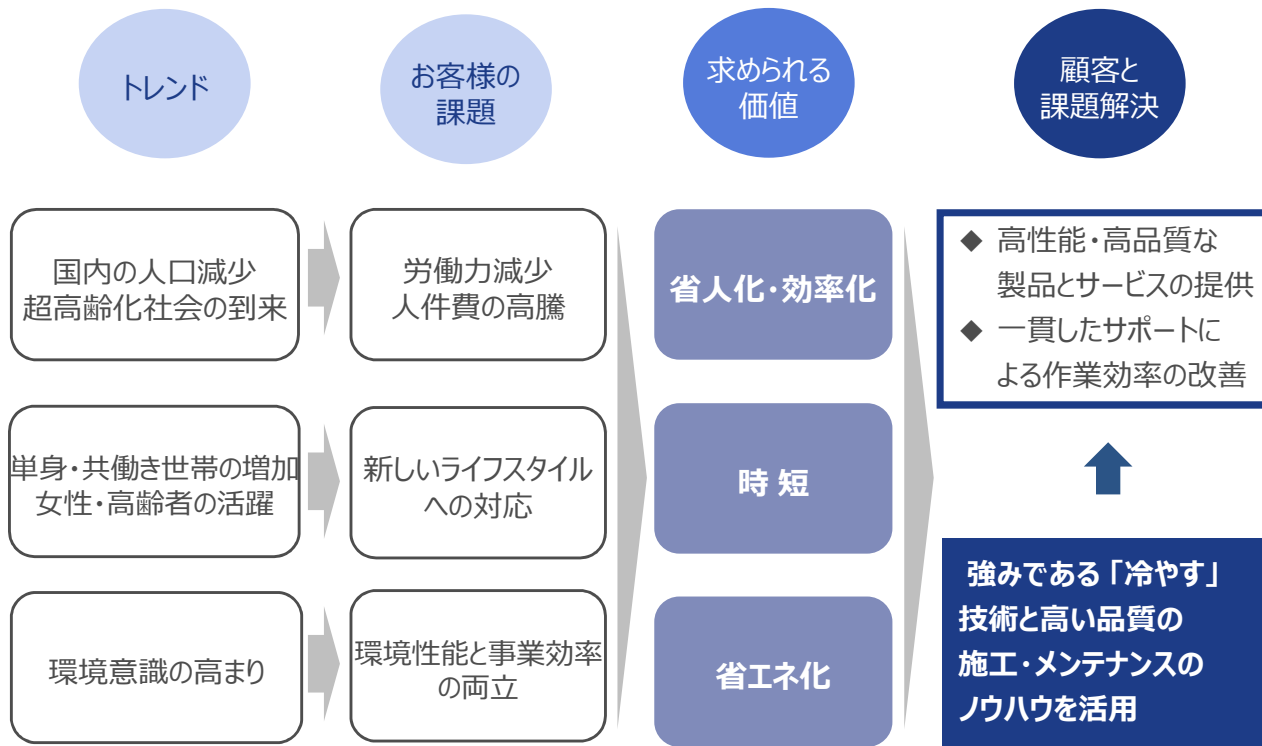


1. 中長期経営計画“N-ExT2023”の概要：数値目標

N-ExT 2023 のコンセプト

◆「冷やす」技術をもとに最良の製品・サービスを生み出し、顧客と共に新しい課題に取り組むことで社会に貢献する

- A.安定：新技術を活用した、更なる効率化を実現できる製品・サービスの提供
- B.成長：従来のお客様の「冷やす」に留まらないお悩み・ご要望の解決
- C.挑戦：新たなお客様へ向けた、「冷やす」を起点とするサービスの提供



	2018年度実績	2023年度目標
売上高	283億円	350億円
営業利益	22億円	32億円
EBITDA	26億円	40億円
ROE	6.3%	8.0%以上

概要 / 実績

新規顧客からの受注獲得

新店獲得数昨年比：119%

ショーケースモデルチェンジ



内蔵スポットケース

新冷媒への取り組み



店舗監視システムのアップグレード



センサムセイバー
(集中監視盤)



詳細 / 課題対応策

- 市場環境の変化により、減少傾向となっている改装需要の掘り起こし

- 省力化を追求した製品の開発と販売強化
- インバータ搭載機種種の拡充(省エネ法トップランナー対応)
- ケース周辺機器の関連販売を強化

- 自然冷媒CO2を導入、制御システムの確立
- 温暖化係数の低い(低GWP)冷媒の評価を行い、導入提案を実施
- 冷媒R22全廃に伴い設備の入替提案を強化

- 異常予知や電力デマンド機能の追加
- 店舗データを一元監視できるクラウドシステムを開発
- 顧客の意向に沿った店舗の省力化に繋がる製品・サービスの開発
- 「HACCPに沿った衛生管理」に伴う作業の省力化

A.
ショーケース
・
倉庫



B. メンテナンス

概要 / 実績

提案メンテナンスに注力

昨年比：131%



自社製品以外のメンテナンス獲得

29店舗

修理受付対応の変更による品質向上



専門部署立ち上げ



詳細 / 課題対応策

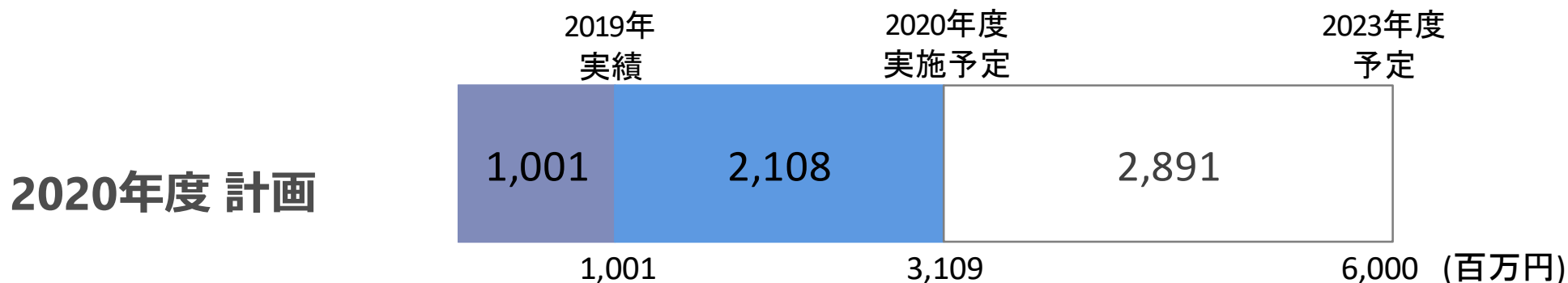
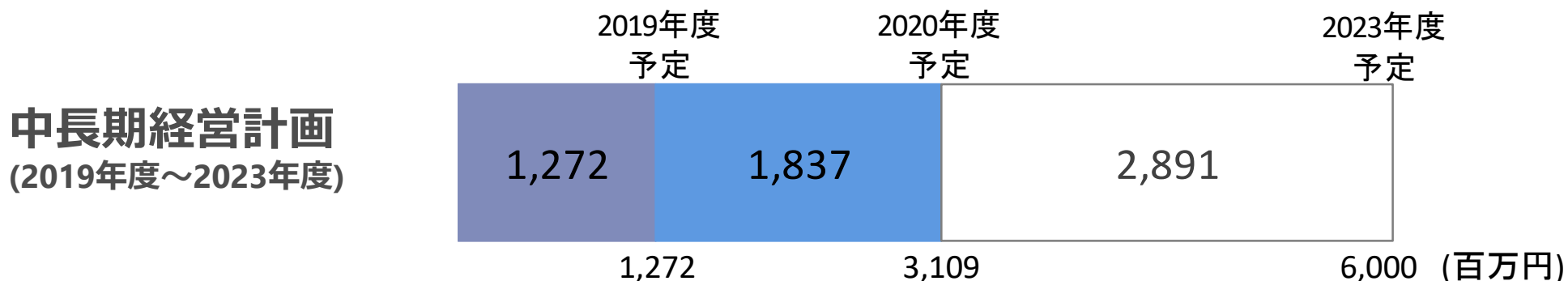
- 予防保全を目的とした提案メンテナンスを強化
→ 製品故障による、店舗での販売機会ロスを削減
- 故障予知システムの精度向上
- 事業拡大に向けて社内体制を強化
→ 次回改装時の引き合いを狙う
- プロのメンテナンスマンによる修理受付体制を強化
→ 更なる品質向上を目指し、コールセンターを設立
- メンテナンスデータを活用した改修・更新提案の検討
- 高品質なメンテナンス対応を継続
- 市場調査や現地日系企業、施工会社との面談を実施
→ 現地拠点設立を計画し、体制構築を図る



C. 海外

3. 設備投資の進捗状況

**2019年度は生産設備、環境整備に約10億円の投資を実行。
2020年度は約21億円の投資を予定。**



2020年度 設備投資実施予定 内訳

- 生産設備 : 6.4億円
- 環境整備 : 5.5億円
- 基幹システム : 6.7億円
- 事業拡大 : 2.5億円

全事業合計で売上高291億円を見込む（前年同期比4.5%減 予想）



【ショーケース・倉庫事業】（前年同期比7.2%減予想）

- 景気の不透明感が改善されず、設備投資抑制は続く。
- 小売業界全体の設備投資抑制により、売上の減少を見込む。
- 倉庫事業は順調に拡大すると予想。



【メンテナンス事業】（前年同期比9.2%増予想）

- メンテナンス範囲の拡大に注力し、新規顧客の開拓に取り組む。
- コールセンターの設立



【海外事業】（前年同期比1.5%増予想）

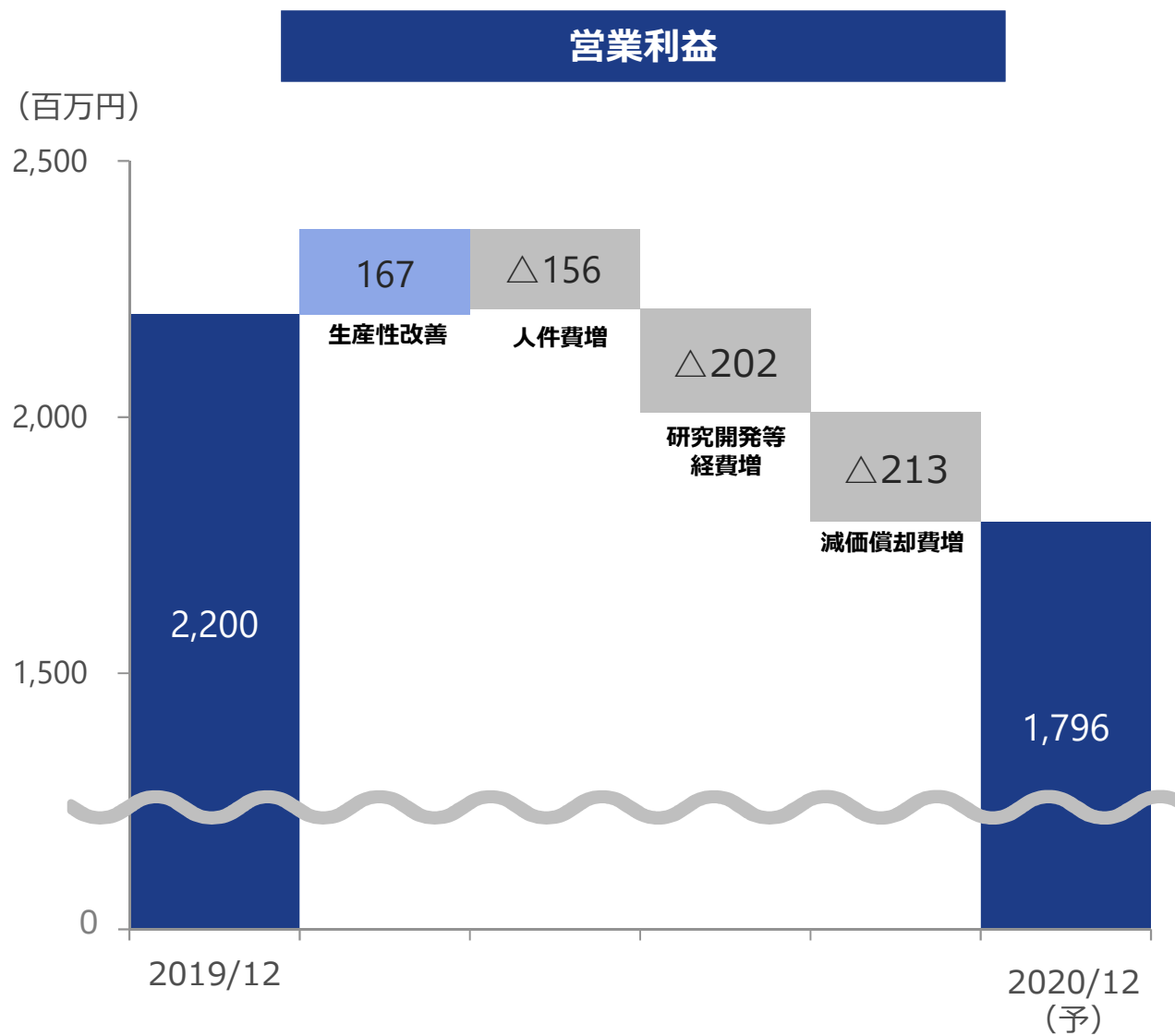
- 新規顧客への取り組み強化で売上増。

「N-ExT2023」の2年目は、当初の事業計画通りの売上高を予想

単位：百万円（百万円未満切捨て）、%

	2019/12		2020/12 前期比			
	実績	構成比	予想	増減	伸率	構成比
売上高	30,485	100.0	29,100	△ 1,385	△ 4.5	100.0
シヨーカーズ ・ 倉庫事業	24,249	79.5	22,500	△ 1,749	△ 7.2	77.3
メンテナンス事業	3,478	11.4	3,800	321	9.2	13.1
海外事業	2,757	9.1	2,800	42	1.5	9.6
営業利益	2,200	7.2	1,796	△ 404	△ 18.4	6.2
経常利益	2,291	7.5	1,876	△ 415	△ 18.1	6.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,496	4.9	1,224	△ 272	△ 18.2	4.2

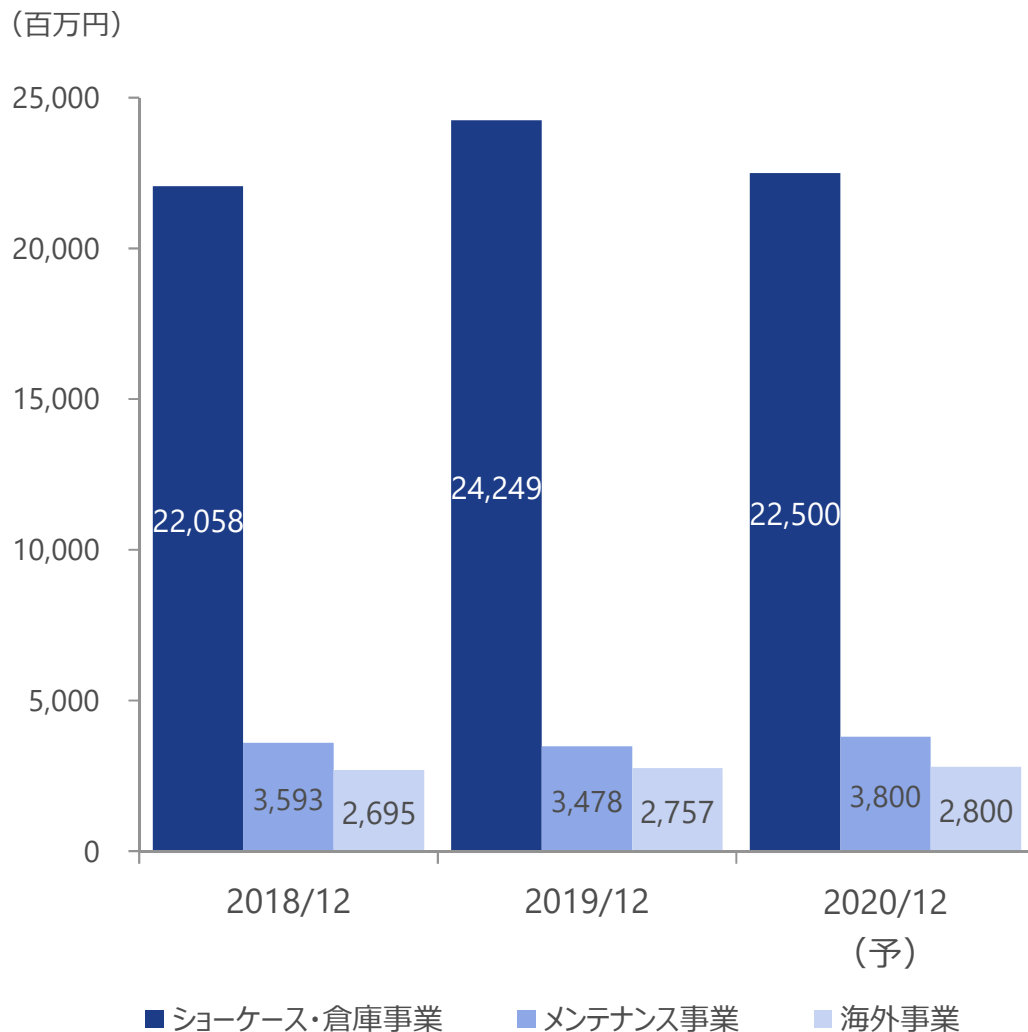
4-(3). 2020年12月期予想 増減要因分析



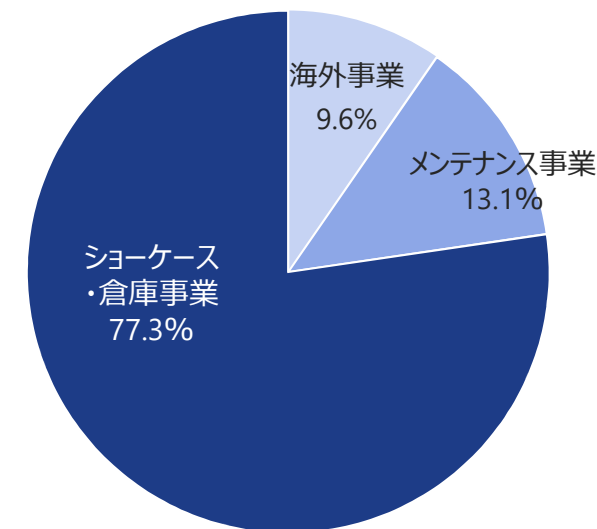
4-(4). 2020年12月期予想 販売見込 (事業分野別)

- ①ショーケース事業は苦戦も、倉庫事業は増収と予想
- ②メンテナンス事業、海外事業についても増収と予想

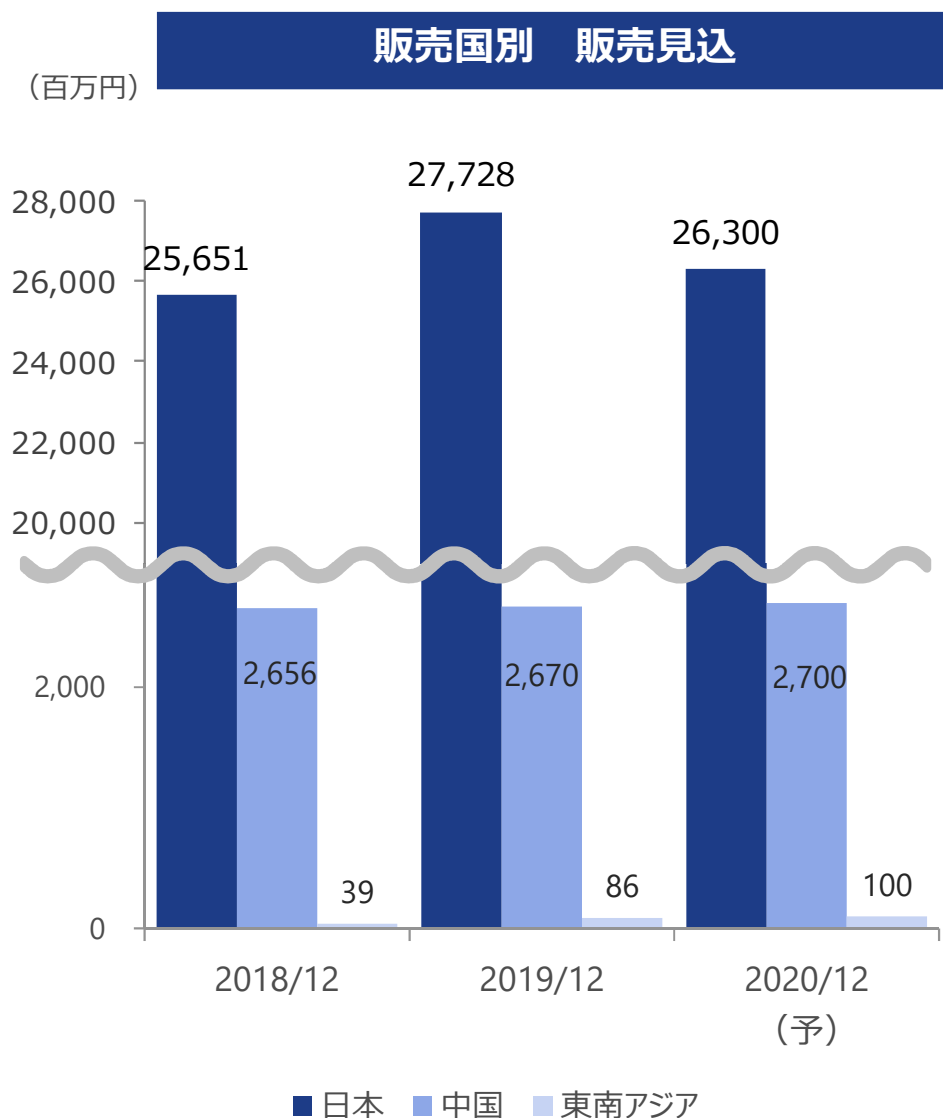
事業分野別 販売見込



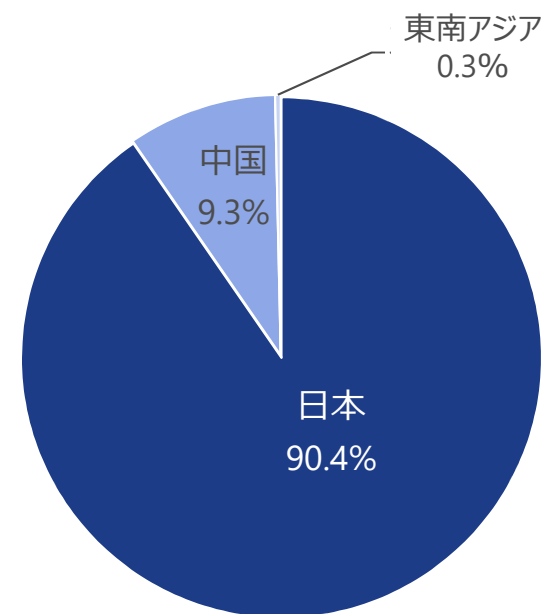
2020年12月期予想
事業分野別 販売見込構成比



日本は苦戦予想も、中国、東南アジアは増収予想



2020年12月期予想
販売国別 販売見込構成比



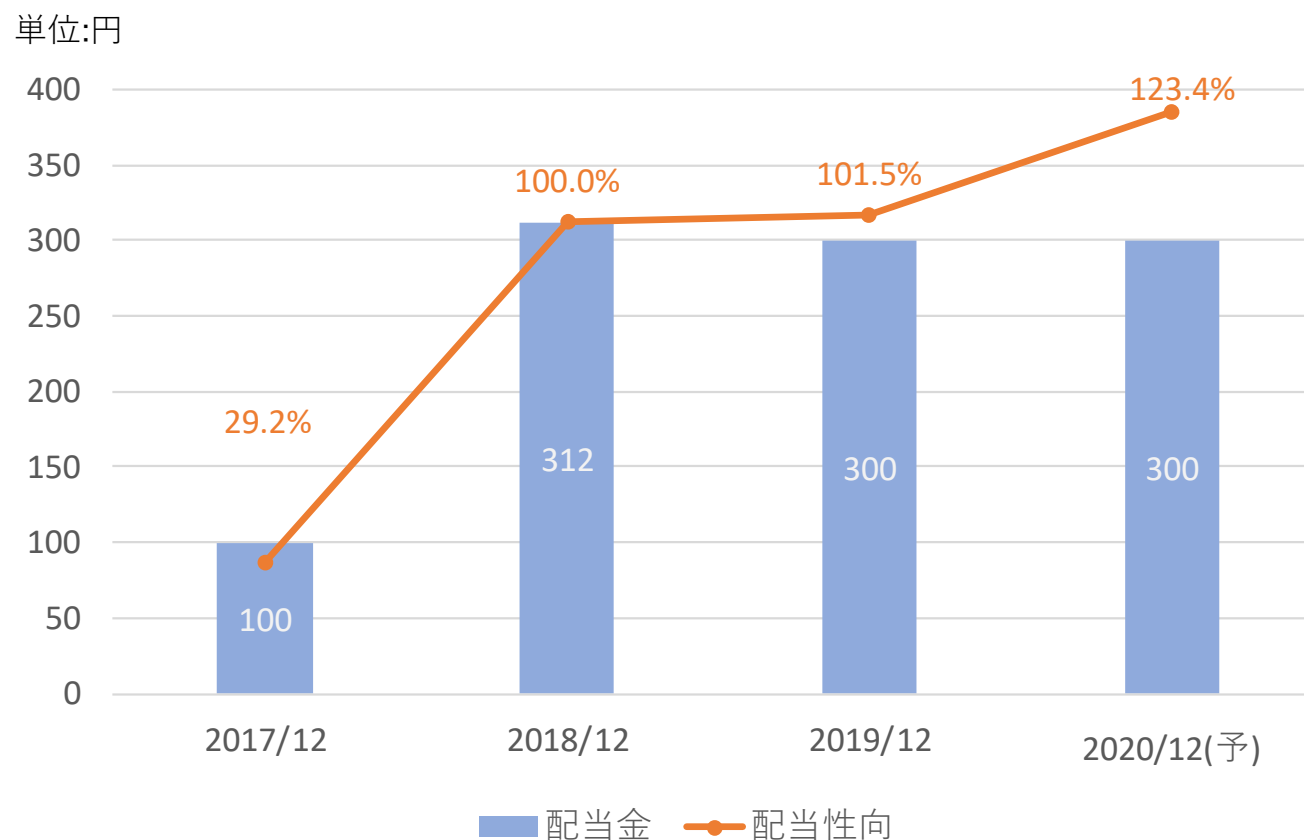
III. 株主還元方針



配当方針

- 2020年12月期まで、連結配当性向について年間100%といたうえで年間1株当たり配当金額の下限を300円とする。

配当実績



IV. 企業価値向上に向けた取り組み



長期にわたる安定成長を通して、全てのステークホルダーとの良好な関係の確立・継続を目指す

ガバナンス・ 経営の透明性 確保

◆ 経営と執行の峻別

- 執行役員制度を導入し、経営と執行を分けることで意思決定の迅速化を図る(2020年3月)

◆ 3分の1以上の社外取締役を確保

- 独立した立場からの客観的なモニタリングにより、更なるガバナンス体制の強化を図る(2020年3月)

働きがいのある 職場づくり

◆ 人材育成の強化

- 全社員のスキルアップに向けた階層別教育制度導入に着手

◆ 働き方改革への取り組み

- 従業員の意識改革と基幹システムの導入により、更なる時間外労働の削減と有給休暇取得を促進
- 最新の生産設備の導入と統一された基幹システムの導入により、生産性向上に向けた業務改善に着手



◆ 労働安全衛生活動

- ISO45001(労働安全衛生)の認証取得を計画し、全社で認証取得する(2020年9月)

環境

◆ 環境・社会に優しい企業づくりの追求

- 2021年度のISO14001(環境)全社認証を目指し、環境活動の体制づくりや教育を進める

◆ 環境への配慮

- 製品・サービスによる温室効果ガス(CO2)の削減を図る
- 資源の消費量削減の為、リサイクル素材の採用による資源減量の促進

1. 本資料は法律に基づく監査手続の対象外であり、本説明会の時点において、法律に基づく財務諸表の監査手続は終了しておりません。
2. 本資料及び本説明会に含まれる予想値、将来の見通しに関する記述は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。そのため、実際の業績は様々な要因により予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は、将来に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
3. 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、当社の株式の売買を勧誘するものではありません。
4. 目的を問わず、本資料を無断で引用または複製することを禁じます。



■■■■ 鮮度ビジネスのリーダー ■■■■
Nakano

